

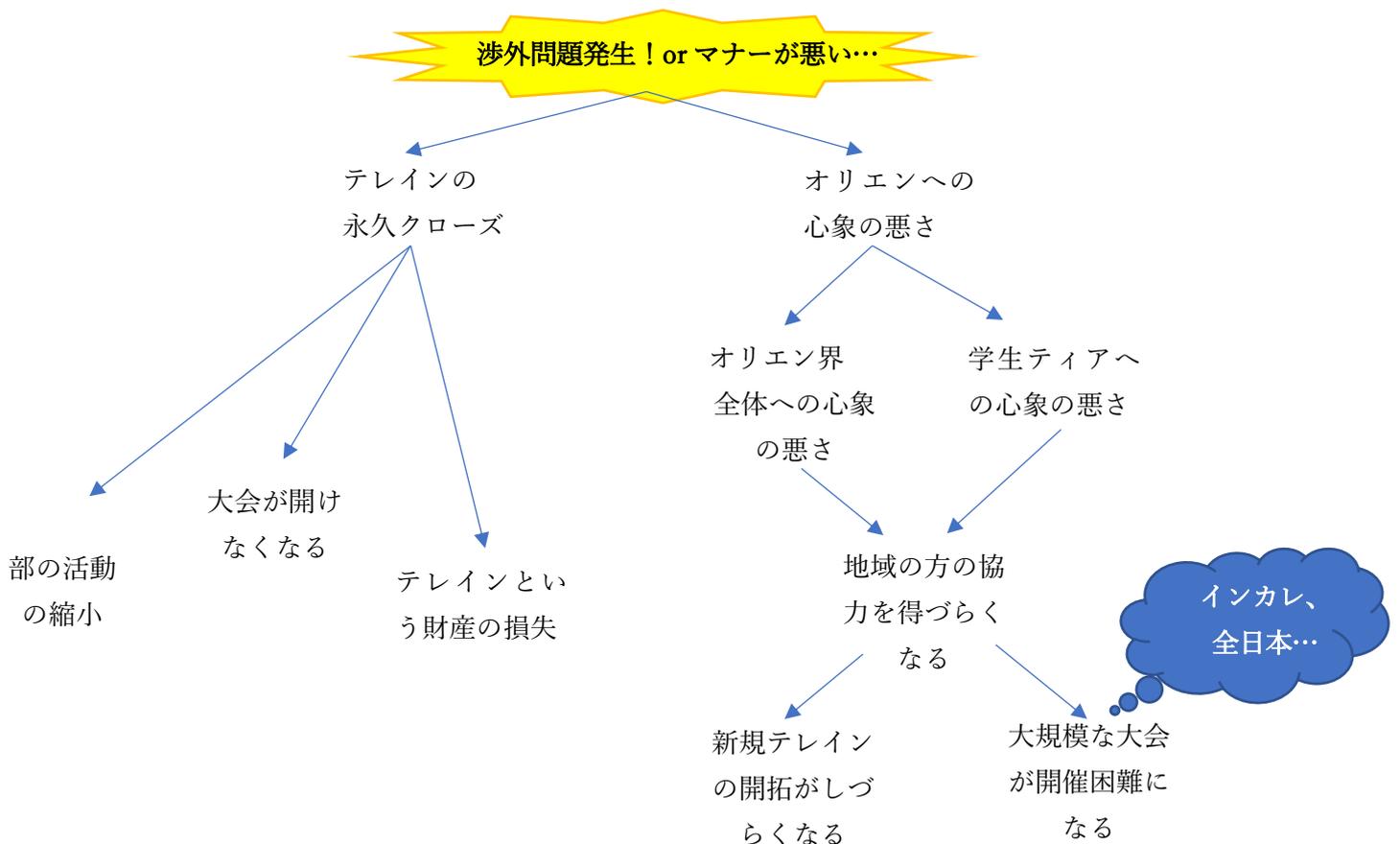
オリエンティアマナー & 渉外問題事例集

目次	
はじめに	p.2
マナー & ルール一覧	p.3
渉外問題事例	p.6
渉外問題報告書の形式	p.19

はじめに

近年、永久クローズトレインが出てきたり、インカレが山川さんの繋がりが強いトレインでしか開催できなかつたり、とオリエンテリングを取り巻く状況が悪くなりつつあります。また、インカレプリントでは毎回、運営の方から競技者マナーの改善を求められてきましたが、未だ十分ではありません。

地元の方の協力を得なければ競技が成立しないというスポーツの性質上、オリエンテリング競技者、もしくは団体の行動が直接オリエン界に大きな影響を与えてしまいます。(下のフローチャートを参照ください)オリエンを日本の多くの場所でこれからも続けられるように、オリエンティア一人一人の意識の指針を示すことを目的として、この資料を作成しました。



この資料の内容及び活用法

内容：オリエンティアとして守ってほしいマナーやルールと、涉外問題事例

活用法：新入生や部員に対して年度初めなどに一度ルールを確認する際の資料として使用ください。

新入生がある程度確定した段階で、この資料を利用したマナー教育を各大学、クラブ内で行い、教育を行ったことを普及部まで報告ください。報告がなかった場合、インカレの後片付けをお願いするなどのペナルティーが課されます。

当たり前だけど、競技中についつい忘れがち。気を付けて！

守ってほしいルールやマナー

《トレイン渉外に関して（大会/練習会）》

トレインを管理する方+トレインを利用する方双方から理解をえることが大切です。

- ・利用するトレインの渉外の取り方を確認し、渉外をとる必要があるトレインを利用する際、必ず渉外をとって利用しましょう。
- ・トレインを利用される一般の方、業者の方、周りの住民の方に理解を得られるよう継続的に周知活動を行いましょ。 (回覧板、住民の方への挨拶まわり、利用者への周知活動)
- ・渉外担当者が変わる場合は、主要所有トレインに挨拶に行く等を行い、前任者が責任をもって担当者が変わったことを伝えましょ。
- ・渉外問題が起こったら速やかに日本学連に連絡、報告書 (p. 19 参照) を提出しましょ。その場で解決できた場合でも連絡は必ずしましょ。
- ・大会運営などで取り扱う個人情報は絶対に漏洩しないようにしましょ。個人の連絡先を渉外のために他団体に伝えるなどは行わないようにしてください。
- ・運営の際、撤収忘れが起きないように確認をしましょ。

《競技やマナーに関して》

○競技上のマナー

- ・林業（工事）中の際、強行突破は絶対にしないようにしましょ。重機を入れているのを目視で確認したら手前の安全なエリアから迂回しましょ。地図で立入禁止になっていなかったとしても急遽工事が入る可能性もあるので、林業しているのがわかった場合は通らないようにしましょ。
- ・競技者の安全を確保するため、周りの方へ迷惑をかけないように、適切なクラス選択をし、フィニッシュ閉鎖や競技時間、腕時計など持ち物の確認を徹底しましょ。
- ・競技時間、フィニッシュ閉鎖時間を絶対に守りましょ。
- ・プログラム、公式掲示板にはそのイベントでの注意事項が書かれているので必ず見るようにしましょ。
- ・人命>競技です。けがをしている人、助けを必要としている人がいたら競技よりも優先して助けましょ。
- ・現在地が分からなくなった場合に確実に戻ってこられる方向を確認して出走するようにしましょ。

○常識、一般の方とのかかわり

- ・ テレインは一般の利用する方、周りの住民の方のご理解を得て使用させていただいているという意識をもちましょう。
- ・ 挨拶をしましょう。
- ・ 一般の方のそばを猛スピードで駆け抜けたり、ぶつかったりして迷惑をかけないようにしましょう。
- ・ 万が一ご迷惑をおかけした場合、すぐ謝りましょう。
- ・ 苦情に対して適切な言葉をつかい対応しましょう。
- ・ 一般的な交通ルールを守りましょう（道路に飛び出さないなど）
- ・ 提示のない施設を利用せず、提示のある施設はきれいに利用しましょう。
- ・ **「許可」という言葉を言わない**ようにしましょう。現地で作業している方や地主の方に何しているか聞かれた際、「許可を得てやっています」と答えたことによって反感を買った例があります。許可を得てやっているわけではなく地元の方との関係を調整されているにすぎないので気を付けましょう。
- ・ 移動の際は横一列で歩かないようにしましょう。（スタートへの誘導や、フィニッシュから会場への誘導）

おはようございます



許可もらっているので



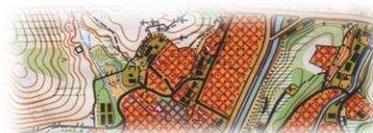
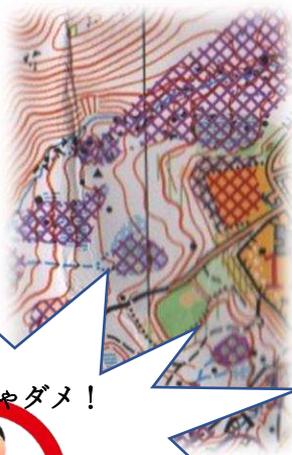
○立入禁止区域に入らないようにしましょう。

・立入禁止地図表記

オリーブ

紫線、紫クロス

田んぼ



※田んぼは紫クロスハッチがかかってもかかってなくても立入禁止です。

・青黄テープ…立入禁止区域を囲っているテープです。通ることはできません。

※立入禁止区域の周りに必ずあるわけではないので、青黄テープがなくても地図上で立入禁止表記がされている場合は入ってはいけません。

○渉外問題が起こったら…

- ・まず丁寧に謝り、使わしていただいているという意識を忘れず対応しましょう。
- ・トラブルが発展しそうな場合はその場だけで対処せず責任者に報告し対応しましょう。
- ・前述にもありますが、必ず報告しましょう。

これらのマナーを守らないと一度のトラブルでそのトレインが永久に使えなくなる場合があります。すべてのマナーは競技よりも優先すべきことです。マナーを守り楽しくオリエンテーリングを続けましょう。

渉外問題事例

渉外問題として実際どんなことが起きているのか、想像しにくいと思います。そこで、実際に起こった事例を次のページ以降にのせます。これは、2015～2018年10月までに実際に起こったものです。どの大学でも起きうることばかりなので、一度目を通すことを強くオススメします。

また、渉外問題の事例の提出にご協力くださった大学の皆様、本当にありがとうございます。皆様からいただいた資料をもとに、マナーやルールを考えました。次年度以降も、万一渉外問題が起こった際には、提出にご協力よろしくお願ひします。

いつ 2018年6月2日(土)	どこで 和田堀公園
だれと 和田堀公園の利用者	
<p>どのような渉外問題が起こったのか。</p> <p>公園で当日 OLK 大会前日大会が開催されたが、全速力で地図を見ながら、前を見ずに走っている人がいて危ないと感じた当日の公園利用者が東京都に苦情をいれた。公園の管理事務所に連絡した場合はすぐに運営責任者に連絡が入るようにしていたが都をまたいだため、連絡がおくれてしまい（苦情があったことを運営責任者が知ったのは大会終了した 10 日ほど後になってから公園の管理事務所から送られたメール）苦情をいれた公園利用者への謝罪や競技の説明はできなかった。</p>	
<p>どのような対応をとったのか。</p> <p>公園の管理事務所にこれから競技を行う際に周りの人とぶつからないよう細心の注意を払うよう喚起すると伝えた。</p>	
<p>現在の状況</p> <p>競技としてイベントを開く際は、公園の管理事務所の前に東京都建設局東部公園緑地事務所管理課にまず連絡しそこで許可をとってから行わなければいけなくなった。（この許可を得るのがどれほど難しいのかは不明）</p> <p>1 団体や小規模のレクリエーションとしてなら公園の管理事務所に連絡をとるだけで開催できるとのこと。しかし、先日この公園で内部練習会を開催しようと思い管理事務所に連絡したが</p> <p>「オリエンテーリングが全速力で公園をはしりまわるものとは前日大会の時はしらなかった、一度苦情が入ってしまった以上やめてほしい」と返答されてしまった。</p> <p>よって現在ポストを設置せず個人で地図をもって走ることや、新歓体験会（これも説明が難しいかもしれないが）のみ可能な状態にある。</p>	
<p>なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか</p> <p>決して広くはない公園に 250 人以上もの参加者が訪れ公園内を走り回ったこと、遊具のあるエリアは競技エリアからのぞいたが、それでも人の近くを競技者が通過することがあったからと考えられる。</p>	
<p>これからの対策</p> <p>今回とおなじく一般利用者の多い公園での開催で大勢の競技者がいたにもかかわらず、渉外問題が起きなかった 2018 年度東北大学大会前日大会の渉外責任者にどのような渉外を行ったのかきいてみたところ、</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園の団体利用のスケジュールをみせてもらい、大会開催の 1 か月ほど前から、かぶりそうな団体には練習しているところにお邪魔して競技の説明を行う。 	

・当日は運営者 5 人で朝から見回りしてであったひとには声をかける。
 といった行為を東大大会前日大会とは違い、行っていたとの回答を得た。
 わざわざ苦情をいれるような方は普段からながらく公園を利用されている方と考えられるので、こうした事前の競技説明を行うことで公園利用者に理解を求めるのが有効と考えられる。

いつ 2015/10/25	どこで 伊豆大島 裏砂漠・奥山砂漠
だれと 大会運営者および地元の観光協会や警察等	
<p>どのような渉外問題が起こったのか。</p> <p>当クラブの 2 年生がゴール閉鎖になっても姿を現さず、運営者によるトレイン内の検索を経て、最終的に観光協会の方や警察の方の協力を得てトレインからかなり遠いところで発見されるに至った。</p>	
<p>どのような対応をとったのか。</p> <p>ゴール閉鎖 (12:15) 後、検索開始。4 年生が一人残留を希望したが、運営者の促しに従って OLK は全員港へ向かい出航した (13:30)。運営者による検索後、警察署に捜索願が提出され (15:00)、15:40 に発見された。事情を聞き、翌日警察署に挨拶をして本土帰還。</p>	
<p>現在の状況</p> <p>毎年 ES 関東が伊豆大島大会を開いてくださっており、トレインクローズ等には至っていない。</p>	
<p>なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか</p> <p>本人は「ゴール閉鎖時刻・競技時間」「船の出航時間」「迷ったら西北あるいは北に向かう」「時計と笛の所持」といった基本的な事項を理解していた。しかし、予想を超えて東に進んでおり戻り切れなかったとのことである。 最終的には、ゴール閉鎖から約 3 時間半後にトレイン北東にあるサクラ株付近で発見された。</p>	
<p>これからの対策</p> <p>適切なクラス選択の勧め・フィニッシュ閉鎖や競技時間、腕時計など持ち物の確認の徹底 笛の携行の推奨・重要項目を記入して上級生がチェックする確認シートの導入、検索時に</p>	

現地に OLK から残留人員を確保する等をおこなっている。

いつ 2017/11/19	どこで 菅生丘陵
だれと あきる野市の職員	
どのような渉外問題が起こったのか。 使用しようとしていた範囲の一部の付近で、子供向けにマウンテンバイクの講習会のようなイベントが行われていた。そのため、その部分について使用しても大丈夫かどうかイベントスタッフに尋ねたところ、ちょうど市の職員の方がおり、あきる野市側の山（菅生丘陵の大部分は青梅市）は市の許可なく使用することは控えてほしい、と言われた。	
どのような対応をとったのか。 該当部分のポストを飛ばして練習会を開催した。	
現在の状況 あきる野市の許可なしには使わないようにしている。	
なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか 土地の利用に関してどこまで厳密に許可を取れば良いのか難しいため。	
これからの対策 あきる野市の山を使用する際には、あきる野市に許可をいただく。	

いつ 2018/7/8	どこで 埼玉県秩父市「宇根峠」
だれと	
<p>どのような渉外問題が起こったのか。</p> <p>早慶戦の参加者が動物用の罾にかかり足が抜けなくなってしまう、警察と救急車を呼んで罾を取り外した。罾の所有者の方はお会いしていない。</p>	
<p>どのような対応をとったのか。</p> <p>警察の方の質問などに答えた。OLKの運営体制とその日の早慶戦の運営についてや、テレインの使用手順についてなどを話した。テレイン渉外については埼玉県協会に申請を出しているのみの状態であることも話した。</p>	
<p>現在の状況</p> <p>その後現在までどこからも連絡は来てはいない。</p>	
<p>なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか</p> <p>参加者への罾などの注意喚起ができていなかった。</p>	
<p>これからの対策</p> <p>地元との連絡をより密に取り合う。</p>	

いつ 2017/12/03	どこで 寺家・三輪七面山II
だれと 現地に野鳥観察にきていた野鳥愛好家の方	
<p>どのような渉外問題が起こったのか。</p> <p>オリエンテーリングを行っていたところ、声をかけられ、藪の中に進入すると鳥が逃げてしまうので控えるように言われた。</p>	
<p>どのような対応をとったのか。</p> <p>渉外手続きを通した上での競技であり、問題ないと思っていることをお伝えして納得いただいた。</p>	
<p>現在の状況</p> <p>なし</p>	
<p>なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか</p> <p>現地在野鳥観察の絶好のポイントとして知られていることが原因だと思われる。</p>	
<p>これからの対策</p> <p>記載なし</p>	

いつ 2018/05/13 11:30 頃	どこで 「中山城」(みちの会所有・地図ほぼ中央部)
だれと 地元の方	
<p>どのような渉外問題が起こったのか。</p> <p>クラブの新歓合宿でスコア O を行っている際、地図に書かれていない立ち入り禁止区域があること、及び静粛を保つ必要がある区域があることを地元の方に注意された。</p>	
<p>どのような対応をとったのか。</p> <p>以下の2点の対応をとった上で競技を続行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に注意を受けた者(弊社加入2年目)をゴール閉鎖時刻まで立たせ、注意を喚起した。 ・運営に主に行っていた加入2年目のラインで共有した。 	
<p>現在の状況</p> <p>当該地図所有のみちの会に連絡し、対応は一任した。本件以降は立ち入り禁止を反映し、事前に利用者に注意事項を説明したうえで販売する旨の連絡を受けている。</p>	
<p>なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか</p>	
<p>これからの対策</p> <p>当該トレインを利用する際には立ち入り禁止区域に十分配慮する。</p>	

いつ 2016年4月ごろ	どこで 釈迦谷（千葉県いすみ市）
だれと	
<p>どのような渉外問題が起こったのか。</p> <p>トレインのある地区の区長さんと連絡が取れなくなってしまった。（電話に出ていただけなくなってしまった。）</p>	
<p>どのような対応をとったのか。</p> <p>謝罪に伺いたいことを伝えようとして電話にて名乗りでたが、切られてしまった。</p>	
<p>現在の状況</p> <p>渉外問題が発生してから連絡は取っていない。トレインはクローズ中。</p>	
<p>なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか</p> <p>2015年12月開催の第22回千葉大大会において釈迦谷を使用した。その際の区長さんへの連絡手段として特別に区長さんの携帯電話番号を教えていただいた。つまり、この携帯電話番号は正式な連絡手段ではない。千葉大大会後の他団体や部内の練習会で釈迦谷を使用する際に、その番号を勝手に区長さんへの連絡手段として広めてしまったことだと考えられる。</p>	
<p>これからの対策</p> <p>釈迦谷については数年から十数年間はほとぼりが冷めるまで何も行わない（行えない）と考えている。</p> <p>この重大な過ちを受けて、他団体の渉外における注意点を聞いて参考にしたり、区長さんなど地元の方との連絡は部内で渉外担当を決めその者のみが連絡をするなど個人情報についてはかなり丁寧に扱っていくことにしている。</p>	

<p>いつ 2017年9月23日(土)</p>	<p>どこで 三河トレイルランお手伝いで訪れた巴山</p>
<p>だれと 問題となったマウンテンバイクの持ち主</p>	
<p>どのような渉外問題が起こったのか。 トレイルランの前日準備中、部員の一人が道に倒れていたマウンテンバイクに遊びで乗っていたところ、持ち主の方が現れ状況の説明をした際に、部員が「捨ててあるものかと思いました」と発言してしまったことと、勝手に乗るという非常識な行動で怒りを買った。</p>	
<p>どのような対応をとったのか。 三河トレイルランは愛知県協会主催なため、後日、本人と愛知県協会の方とで謝罪に行った。名指しでは半年ほどそのトレインが使えなくなった。</p>	
<p>現在の状況 作手地区のトレインを使う際は、その都度必ず入山する全員が誓約書(入山中にしてはいけないことの確認を一人一人に理解させるもの)を書くことになった。 また、作手地区のトレインを使う際は慎重に行わなければいけなくなった。</p>	
<p>なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか そもそも勝手に人のマウンテンバイクに乗ったことも非常識であったが、それと同時に、持ち主の方に状況の説明をした際の態度、言葉使いが良くなかった。</p>	
<p>これからの対策 どのトレインであろうと、トレイン内での行動には気をつけることを部員全員が周知すること。 悪いことをしている、という意識を持つこと。</p>	

<p>いつ 2017年9月10日（日）</p>	<p>どこで 名相大会開催トレイン「水別」</p>
<p>だれと</p>	
<p>どのような渉外問題が起こったのか。 名相大会終了後の片付けの際に、運営がコントロールにあった給水を取り忘れた。</p>	
<p>どのような対応をとったのか。 岡崎森林組合から連絡を受け、1週間以内に取りにいき謝罪した。</p>	
<p>現在の状況 マウンテンバイクの件等もあわせて、作手地区での渉外問題が重なって起こったので、トレイン管理者制度を愛知県協会が作り、講習会が開かれたり、入山の際には誓約書を書くことになっている。</p>	
<p>なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか 運営が確認を怠ったから。</p>	
<p>これからの対策 大きな大会でも部内の練習会でも関わらず、忘れ物や取り忘れに注意をすること。</p>	

いつ 2017/2/19（第37回早大OC大会）	どこで しろやまこ
だれと 地元の年配の男性	
<p>どのような渉外問題が起こったのか。</p> <p>正午過ぎ、近くに住んでいてよく散歩をされているという方がコミュニティ広場までいらっしゃいました。そして、当イベントの参加者（競技者）に後ろからぶつかられたという報告と、道に枝が沢山落ちていることから植物と遊歩道への悪影響を懸念されていたり、「市に対して本イベントのような山林内でのスポーツをやめるよう苦情を伝える」というお考えを私どもへ伝えてお帰りになりました</p>	
<p>どのような対応をとったのか。</p> <p>事故の現場とその方のお名前やご連絡先をお伺いせず、大会の渉外の連絡先が記載されている自治会の皆様への回覧資料と同じものをお渡しするのみとなってしまいました。そのため、こちらから追ってご連絡や謝罪をすることはできなくなってしまいました。また、その方が実際に市に連絡をなさるかどうかも確かめられないという状況です。</p> <p>また環境への配慮については、その方の仰った枝とは大会前日に造林組合の方がしてくださった枝落としの跡をご覧になってオリエンテーリングの結果であると思われたのかもしれない思い当たりました。ごみについては持ち帰り、山林周辺に設置させていただいた機材、テープ、紙などのものは回収の再確認をしました。植生も特に異常は見られなかったため、山林への影響は最小限に留められたのではないかと考えております。</p>	
<p>現在の状況</p> <p>不明な状況。</p>	
なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか	
<p>これからの対策</p> <p>① 今後、当該山林使用の際には回覧資料を自治会に回覧していただくことになっていきます。その際に、林道の使用があることを明記し地元の方へ周知します。</p> <p>② 競技者へ対して、今回の利用者へのトラブル事例の周知を徹底して、注意喚起を必ず実施します。</p>	

いつ 2016年1月13日(金)	どこで 矢板塩田
だれと 林業関係の業者	
<p>どのような渉外問題が起こったのか。</p> <p>自分たち団体がトレイン申請を行い、使用許可が出ているのにもかかわらず、林業業者が伐採作業を行っており、部員に対してこのままだと伐採した木が当たって怪我する恐れがあると警告された。実際その業者から新潟大学学務に連絡が行き、当時の副部長にその旨が伝えられた。</p>	
<p>どのような対応をとったのか。</p> <p>トレイン管理者である山川克則さんに連絡し、トレインに来ていただいた。山川さんと業者の話し合いののちトレインを使用してもよいということになり練習を再開した。</p>	
<p>現在の状況</p> <p>地元住民とのトラブルではなかったため通常通り使用できている。</p>	
<p>なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか</p> <p>地元住民には連絡が行き届いていたが、今回の林業業者は外部だったため連絡が行き届かなかった。</p>	
<p>これからの対策</p> <p>トレインを使用する際にはその日に伐採作業が入っていないか確認する。 もし入っていた場合はトレイン管理者と業者で話し合いを行う。</p>	

いつ 2015年1月15日（金）	どこで 矢板山苗代
だれと 地域住民と	
<p>どのような渉外問題が起こったのか。</p> <p>矢板 山苗代でポストを設置している中、当時の新潟大学の部員の一人が地元の方に「土地の利用許可を出していない」と指摘された。しかし、その日限りは使用の許可を頂き、練習は1日することができた。</p>	
<p>どのような対応をとったのか。</p> <p>住民の承諾の上練習を続行。山川氏と日本学連に報告。</p>	
<p>現在の状況</p> <p>問題なし</p>	
<p>なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか</p> <p>地域への伝達不足と思われる。</p>	
<p>これからの対策</p> <p>地域への十分な周知活動</p>	

もし、今後渉外問題が起こってしまった場合、速やかに日本学連に以下の形式の報告書を nichigaku.fukyu@gmail.com まで提出してください。

団体名	記入日
いつ	どこで
だれと	
どのような渉外問題が起こったのか。	
どのような対応をとったのか。	
現在の状況	
なぜこのような渉外問題が起こってしまったのか	
これからの対策	